



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

3月園だより

令和3年2月26日

February 26, 2021

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



希望の春へ

園長 河合 晴美

園庭のあちらこちらで、春の訪れを見つけることができるようになりました。フキノトウにウメ、アジサイの芽、3歳児りんご組が植えたチューリップ、4歳児ばら組が植えたアネモネ、5歳児さくら組が植えた水仙と、子どもたちが春を見つけ、楽しんでいます。いよいよ3月になります。3月18日の修了式までの日々が残り僅かになりました。今年度、南山幼稚園の修了児は、26名、開園時からの修了児の総計は、4486名となりました。さくら組さん、おめでとうございます。

一日一日を大切に過ごすさくら組から、来年度年長組になるばら組へ、園生活の中でさくら組が担っていたことを教え、引き継いでもらっています。特に朝の出欠調べは、さくら組の行動に興味をもって見ていたばら組が喜んで引き受けました。他学年の保育室に行き、欠席の幼児の数や現在数を教えてもらい、職員室に知らせる役割です。毎朝、友達と張り切って始めるばら組の姿に成長を感じます。3歳児りんご組では、自分で気が付き、進んで行うことや考えながら行動していく姿が多く見られるようになりました。そのような時「ばら組さんみたいだね」と声をかけると満面の笑みを浮かべ、嬉しそうにしています。

5歳児さくら組は、南山小学校の5年生が得意技を見せてくれる「小学生はすごいんだぜ」という時間に招待されました。高さのある竹馬や一輪車、コマやけん玉のいろいろな技、フラフープやポックリでの走りなど、さくら組は、見るもの全てに驚きの声を上げ、目を輝かせ見ていました。そして、「小学生になったらできるようになるのかな・・・」「やってみたい」と憧れと強い思いを表していました。

一年がたち、子どもたちそれぞれの伸びゆく姿、未来に向かう力に大きな希望を感じます。自信をもった子どもたちは、胸を張り、堂々と新しい一歩を踏み出すことと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、一年間御支援、御協力をいただきまして誠にありがとうございました。



<5歳児から4歳児への引継ぎ>



<朝の出欠調べを教わる4歳児>



<5年生の技を見る5歳児>